

新規・継続等	新規	分野	農地等を保全する地すべり対策		事業番号	1	事業名	地すべり対策			
市町村名	安曇野市		ふりがな箇所名	とうほら 塔の原			事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度～		H27 年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工程など)	横孔ボーリング工 L=2,340m、集水井工 N=1基、排水路工 L=177m、土止工 L=55m、承排水路補修 L=913m					H22年度末事業進捗率	0 %			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %			
	H23年度実施内容	調査・設計1式、横孔ボーリング L=200m					用地補償費ベース	- %			
	年度	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残				
	事業費計(千円)	130,000		0	0	15,000	130,000				
	財源内訳	国庫支出金	65,000		0	0	7,500	65,000			
その他							0				
県債		58,500		0	0	6,750	58,500				
一般財源		6,500		0	0	750	6,500				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課		
							ランク	評点	ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	<input checked="" type="checkbox"/> 10戸以上	<input type="checkbox"/> 1～9戸	<input type="checkbox"/> 0戸未満	A	5	A	5	
			保全対象公共施設	<input checked="" type="checkbox"/> 2箇所以上	<input type="checkbox"/> 1箇所	<input type="checkbox"/> なし		5		5	
			保全対象に弱者施設があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 重要施設	<input type="checkbox"/> 一般施設	<input type="checkbox"/> なし		3		3	
			保全対象(農地・農業用施設)	<input type="checkbox"/> 危険ため池又は農地10ha以上あり	<input checked="" type="checkbox"/> 受益1～10ha以上の農業用施設または流域対策上保全すべき農地あり	<input type="checkbox"/> 受益1ha未満の農業用施設、その他の農地		5		5	
		小計						18		18	
	(15)	重要性	過去の災害履歴	<input type="checkbox"/> 過去5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 過去20年以内	<input type="checkbox"/> なし	B	3	B	3	
			交通遮断による地域経済などへの影響	<input type="checkbox"/> 大	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小		3		3	
			防災計画上の位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 位置付けあり	<input type="checkbox"/> 位置付けなし			5		5	
		小計						11		11	
	(10)	効率性	費用対効果(B/C)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C1.5以上	<input type="checkbox"/> B/C1.0以上1.5未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	A	7	A	7	
			早期発現度(残事業年数)	<input type="checkbox"/> 4年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 5年以上7年以下	<input type="checkbox"/> 8年以上		2		2	
		小計						9		9	
	(35)	緊急性	地すべり活動度	<input checked="" type="checkbox"/> 顕著な動きがある	<input type="checkbox"/> 軽微な動きがある	<input type="checkbox"/> 動き無し	A	15	A	15	
			計画安全率の達成	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しない	<input type="checkbox"/> 達成した			10		10	
			下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(概ね満砂)	<input type="checkbox"/> あり(ポケットあり)		10		10	
		小計						35		35	
	(20)	計画熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な活動が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望がある	<input type="checkbox"/> 特に要望ない	B	6	B	6	
			事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者を中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知してない		3		3	
住民参加の状況			<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 住民意見は反映していない	4		4			
小計							13		13		
費用対効果(B/C)		3.36		評価の合計			A	86	A	86	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	第三紀層に属する中新統別所層(砂岩・泥岩)の上に段丘層崩土等が堆積し非常に軟質化しており、多量の地下水及び降雨により間隙水圧が上昇することで地すべりを引き起こしている。昭和60年以降、順次対策工事を実施し、一時的に小康状態を保っていたが、近年活動が再開し家屋等への被害が見られる。									
	地域からの要望経緯	地元地すべり委員が定期的に見回りを行い、その結果が地方事務所に報告されている。地区内に異変がある場合には、その都度現地を確認して内容をとりまとめ対策を要望している。									
	事業説明等の経緯	H21.10.13 地すべり対策委員・市と現地調査 H22.1から詳細踏査 H22.3.12 地域住民等への調査報告会 H22.6.9 関東農政局地質官による現地調査 H23.2.2 地域住民等への事業説明会									
	環境・景観への配慮項目	現場発生木根などの廃棄物を現場利用するなど、社会的環境負荷軽減を図るよう配慮する。また、ボーリング削孔水など工事に伴い発生する汚泥についても沈殿槽を設ける等の措置を行って水質保全に努め、溪流部の自然環境への被害を低減する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
特記事項	集落部への変状が続いているうえ、地すべりブロックの下部には明科中学校があるなど重要な保全対象が多く緊急を要している。また、地区の地すべり委員の取り組みが活発であり、横孔ボーリングの機能回復の取り組みが新聞でも紹介されるなど、熱心に地域の保全を図っていることから、早期に地すべり対策事業での対応が望まれる。										
地域の合意形成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成		<input type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明	<input type="checkbox"/> その他					
部意見	集落や農地を含む地すべりブロックの不安定化が確認されており、中学校への被害も危惧されることから、早急に地すべり対策が必要である。				政策評価課意見	緊急性が高く、必要性も認められる。					